

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 13 No 1

138号

平成17年 1月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>



今年もよろしくお祈りします

院長・スタッフ一同

新しい年に向けて-2005-

院長

毎年恒例ですが、新しい年に向けてと題して昨年を振り返ってみます。昨年は怪我や病気もなく、スタッフの移動もなく安定した一年を過ごすことが出来ました。

しかし、災害が多く、集中豪雨、台風、地震、津波と、自然の力の大きさに驚かされた一年でした。奇跡の救出を院内報に掲載したように、中越地震は特に印象が強く残っています。避難所やテント生活から開放され、仮設住宅に移っての新年となりましたが、問題はまだまだ山積みようです。患者さんから頂いた義援金と、病院広報企画賞の賞金の一部を加えて26,437円を日本赤十字社新潟支部に送りました。御協力ありがとうございました。

12月26日にスマトラ沖の大地震とインド洋の大津波が起きました。今回の地震と津波の規模は、過去に無いほどの大きなものでした。テレビでの画面を通して被害の大きさは伝わってきます。時間が経つにつれて犠牲者も増え、先日の報道では10万人を越えたようです。宮城県のひとつの市の人口に匹敵するもので、どれだけの被害だったか本当に驚くばかりです。消息の不明の日本人は数百人、米国人では数千人もいるようです。被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げますとともに、消息不明の方々が一日でも早く見つかるよう、また亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

昨年の良い話題の第一は、日本HIS研究会のヘルスケア情報誌の特別賞と新設の病院広報企画賞の受賞でした。開業以来理念に基づいて続けてきた活動が評価され、非常に嬉しく思っています。どんなことでも同じですが、自己満足だけでは継続のためのモチベーションにも限界があります。やはり、他人の評価が大きな力になります。他人の評価は賞だけではありません。昨年12月26日に河北新報に、

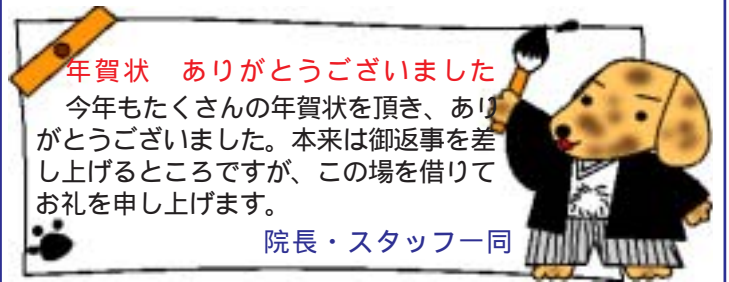
受賞の記事がかなり大きなスペースで紹介されました。年賀状では多くの方々から記事を見てのお祝いの言葉がありました。当院の活動も自分だけの力で成り立っているものではありません。かかりつけ患者さんだけでなく、HPにアクセスしてくれる方々、マスコミの方々、そしてスタッフと家族に支えられていることをあらためて感じた一年でした。このように支えてくれている人たちに、何をどんなふうに返していくかが毎年の宿題のような気がします。

次は、東北放送ラジオのレギュラー出演です。毎月奇数木曜日に、加藤漢太さんがパーソナリティをつとめる番組のコーナー「スーパートーク」を担当しています。この番組は10～15分の時間で、こどもの病気の話について取り上げています。普通の医療の番組とは違い、病気や対処法の話だけでなく、自分の考えを伝えることができるのがとても魅力的です。もうしばらく続く予定です。毎月奇数木曜日13：15頃（多少時間が変更になることもあります）からです。どうぞ、お聞きになってみてください。何か取り上げてもらいたい話題等がありましたら、受付までお願いします。

仙台リビングでも毎月第1週の「リビングウエルネス通信～子どもの健康～」を担当しています。豊橋市の育児支援情報誌「ママゴン」の - 名医が語る - お母さんへの手紙のコーナーの担当も続いています。待合室に見本誌を置きますので、ご覧になってみてください。

そして、「かわむらこどもクリニックHOMEPAGE」のアクセス数が昨年12月に、ついに60万件を突破しました。1996年1月15日にHPを開設して、もうすぐ9年になります。当初は海のものとも山のものともわからない状況でした。多くの人たちに支えられて続けています。

いつの間にか、当院も2月20日で12年になります。毎年“漫然と同じことの繰り返しでは、進歩がありません。”と書いています。これから、また何か新しいことが出来るか、性懲りもなく考えているところです。お母さんたちも子どもたちのため、何か一つ新しいことに挑戦してみましょ。新しいことが出来なくても、一つ一つの小さな積み重ねの大切さも大事にしたいことです。



年賀状 ありがとうございます

今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございました。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。

院長・スタッフ一同

麻疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻疹のワクチンを』

スタッフから一言 あけまして おめでとう ございます

今年、去年から挑戦しはじめた事のワンランクアップを目指していきたいと思います！。福地 あさか

今年、患者さんの名前をもっと覚え、明るく頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。端 ちひろ

今年、四年！また新しい年が開けました。年齢ではなく中身で勝負！？したいと思います。目標は去年以上に、笑顔を大事にしたいと思います。婦長 中米 由美子

今年の目標は、「急ぐとも、心静かに深呼吸。」頭の中は焦らずに、テキパキと行動していきたいと思ひます。佐藤 陽子

今年も1年、素敵な年になるよう笑顔でがんばりたいと思ひます。ヨロシクおねがひします。茂木 玲子

読者の広場

先月は21通のメールを頂きました。お母さんクラブのクリスマス会へのメールです。まずは宮城野区の相沢さんからです。「今日のクリスマス会は楽しかったです(^o^)/毎年思う事ですが...準備に時間がかかったらうな...と感心するばかりです。そして、お姉ちゃん達が『タオル取りゲーム』で本気になり、小さい子達相手に優勝してしまい申し訳なかったです...f(^_^;)でも、本人は勝った喜びを知ったようでした(^-^)/ビンゴでは、母が嬉しい『パジャマ』が当たりました\(^o^)/今日は楽しいクリスマス会を、ありがとうございました また来年も楽しみにしています」。もうひとつ泉区の寺島さんからです。「今回で三回目の出席となりました、寺島まな&かなの母親です本当に毎回、先生を始めスタッフの皆さんの準備のすばらしいこと!!。診察の度に待ち時間が長くなる人気の小児科なのに、企画や、準備大変だったと思ひます。人形劇も楽しくて、帰ってきてからも愛華は「オオカミさんお化けになっちゃったねえ」「サンタさん、プレゼントいっぱいくれたね」など楽しそうに話しています。なんだか忙しい父親にはまだ会ってませんが、きっと一生懸命クリスマス会のお話を聞かせることでしょう。ゲームや薬局さんの演奏、盛りだくさんのプレゼント。日頃の育児疲れも忘れて楽しませていただきました、ありがとうございます!!。今年、香菜を授かり、愛華一人の時よりも足繁く通うようになり、皆さんにはお世話になりっぱなしでした。できれば、検診や予防接種での来院で済めばいいのですが...。それでは、皆さんお体には充分気をつけて、良いお年を迎えて下さい。また、来年もどうぞよろしくお願ひします」。ありがとうございます。お母さんクラブのクリスマス会はスタッフ一同楽しみにしています。確かに婦長はじめ皆頑張ってくれて、ペーパーサートやカードだけでなく、手作りのプレゼントまで作ってもらっています。こんな楽しい会が開催できるのも、スタッフのお陰と言っても過言ではありません。今年もまた、ぜひ参加して下さい。今年もお母さんクラブ、工夫を凝らしていきたいと思ひます。



TV放映のお知らせ

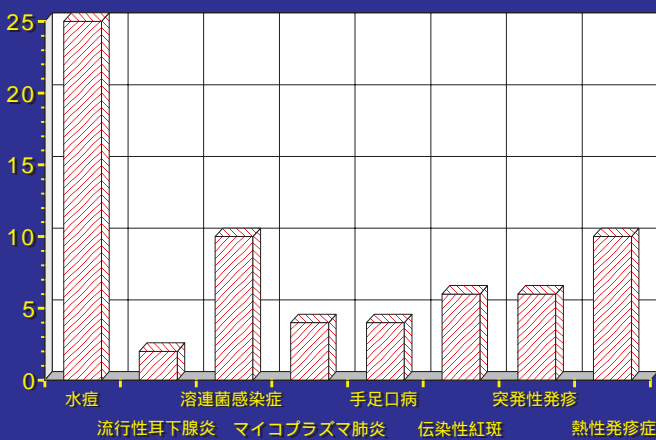
1月5日(火) 仙台放送 スーパーニュース、アナウンサーの浅見さんの「今年にかける」のコーナー(18:15頃~)で、病院広報企画賞受賞と当院の活動が紹介されます。診察風景やインタビュー、お母さんクラブの様子も放映される予定です。是非、ご覧になってみてください。

1月のお知らせ

- ・在宅休日当番
1月16日(日) 9:00~16:00
- ・栄養育児相談
毎週水曜日 13:30~ 栄養士担当



12月の感染症の集計



水痘がかなり流行し、年間を通して最も多い数です。溶連菌感染症も多く、手足口病や伝染性紅斑も見られています。咳がひどく発熱が続く患者さんの中にマイコプラズマ肺炎もあるようです。グラフには示していませんが25日に第一号のインフルエンザの患者さんが出て、年末まで25人となりました。まだ大流行の兆しはありません。

スマトラ沖地震救援金の案内

待ち合い室に募金箱を設置致しました。よろしく、ご協力をお願い致します。

- ・日本赤十字社
郵便振替 口座 00110-2-5606
通信欄にスマトラ沖地震救援と書けば、手数料は無料になります。受付期間2005.1.31まで。
- ・テレビ朝日ドラえもん募金
0990-53-5000(1回で100円の募金ができます)
ドラえもんの声もきけますよ

編集後記

また新しい年がはじまりました。昨年はかなり充実した年で、北海道から四国、九州まで出張で訪れました。また広報企画賞受賞等、嬉しいこともありました。今年、はどんな年になるのでしょうか。毎年年初めに決意するのですが、少し休む時間を見つけ、余裕を持てる年にしたいものです。



東北放送ラジオ 毎月奇数木曜日 「漢太のウキウキラジオ」 13:10~ レギュラー出演中

「小児科がやさしく教える 赤ちゃん・子どもの病気」 残部少なくなりました。購入はお早めに!!